

中学校（1年生）
4月
学級目標の設定

年度初めであり、お互いの名前や特徴を知り合うことが中心となる。「楽しく、なかよく、安全に、一生懸命」することを全員で共通理解し、年間の学級目標（テーマ）づくりやルールづくりをする。

活動の実際

＜AHA体験＞ フィンガーソーセージ	
活 動 内 容	支 援 及 び 留 意 点
①両手の人差し指をだす。 ②人差し指の先を合わせて、目の前にもってくる。 ③指先をじっと見ていると、おいしそうなソーセージが浮かんでくる。	○腕を伸ばすくらい距離をとった方が見やすい。
＜発展＞ ○目標になる物を準備（決める）して、そこから視点をそらさないように支援する。 ○指を心持ち離すと、ソーセージが空中に浮かび上がる。	
＜比喻（メタファー）＞ ○見たい物の先にある目標を見失わないと、今見たい物が見えてくる。 GOAL（目標）を持つことはすごく大事。	

ネームトス	
準備物	マスコットまたはフリースボール
活 動 内 容	支 援 及 び 留 意 点
①全員で輪になる。 ②自分のネームを決めて紹介する。 ③自分のネームを言いながら、マスコットをだれかに渡す。 ④これを繰り返す。	○ネームは自分の呼ばれたい名前でよい。 ○マスコットはとなり以外の人に渡す。
＜発展＞ ○前の人に「ありがとう○○さん。」と言ってから自分のネームを言い、次に渡す。 ○渡したい人のネームを呼んでから渡していく。	
＜ふりかえりの視点＞ ○ネームを呼ばれたとき、どんな気持ちでした？ ○うろおぼえでも呼んでみた？	



ネームターン	
準備物	なし
活 動 内 容	支 援 及 び 留 意 点
①全員が輪になる。 ②それぞれ向きを変える方向を決めてお	

- く。
- ③リーダーの合図（例「ジャンプ」）で、全員が同時に軽く飛び上がり、右か左に向きを変える。
 - ④向き合った者同士は、握手をして挨拶をする。
 - ⑤リーダーの合図（例「シャッフル」）で場所を入れ替わる。
 - ⑥これを繰り返す。

- 向き合えず、出会えなかった者の気持ちに配慮する。
- となり以外の場所へ移動する。

<発展>

- 出会えた喜び、出会えなかった者の悲しみを、徐々に大きく表現する。
- シャッフルはリーダーの合図無しで行う。

<ふりかえりの視点>

- 出会えた喜び、出会えなかった悲しみを感ぜられた？
- 左右の人を見て、方向を決めた？



みんなおに

準備物 なし

活 動 内 容

支援及び留意点

- ① 適当な範囲を決めて分散する。
- ② 1人ひとりがオニなので、先にタッチされたらその場に座る。
- ③ 人数が少なくなった終了する。

- 原則的には危険防止と体力差解消のために、走らずに行う。
- 場所が広い場合や危険性がない場合は、走ってもよいことにする。
- 人数が多くても、短時間で終了する。

<発展>

- 座っている者のうち、手を挙げて意思表示をしている者は、生き残っている人にタッチされると生き返る「行き返り」ルールを適用すると長い時間でも楽しめる。
- 手を挙げて「助けて」と声を出すことにする。

<ふりかえりの視点>

- 何人助けた？
- 助けられたとき、何を感じた？



目標づくり

準備物 ツリー（立体であれば何でもよい）、カード、カード記入用ペン

活 動 内 容

支援及び留意点

- ① 1年間どのような学級にしていきたいかをカードに記入する。
- ② 用意したツリーにカードを貼り付けていく。
- ③ 全員がカードの内容を確認し、学級としての目標（テーマ）を決める。

- ツリーは立体であれば何でもよいが、立体にこだわる必要もない。大判の用紙にシンボルを書き、シンボルに貼り付けていく方法もある。
- カードの貼り付けはできるだけ頑丈に。

<発展>

- モビールのようにツリーをデザインしてもよい。
- クラスのシンボルとしていつも目に付くところに存在していることが大切。

<ふりかえりの視点>

- 目標は自分にとって具体的ですか？
- 自分自身が達成できるレベルにありますか？